



北海道財務局 公式マスコットキャラクター
「きたまるん」



希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

釧路・根室管内 経済情勢報告

(令和8年1月から3月期)

財務省 釧路財務事務所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kushiro/>

【問い合わせ先】
財務省釧路財務事務所財務課
電話0154(32)0701

【 目 次 】

概 況	・ ・ ・ ・ ・	1
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	2
観 光	・ ・ ・ ・ ・	3
雇 用	・ ・ ・ ・ ・	4
生乳生産	・ ・ ・ ・ ・	5
漁 業	・ ・ ・ ・ ・	5
住宅建設	・ ・ ・ ・ ・	6
公共事業	・ ・ ・ ・ ・	6
企業倒産	・ ・ ・ ・ ・	7
金 融	・ ・ ・ ・ ・	7









【利用上の注意】

- 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 本指標は、データ提供先の数値訂正や推計方法の変更等により、過去に遡って訂正する場合がある。

概況

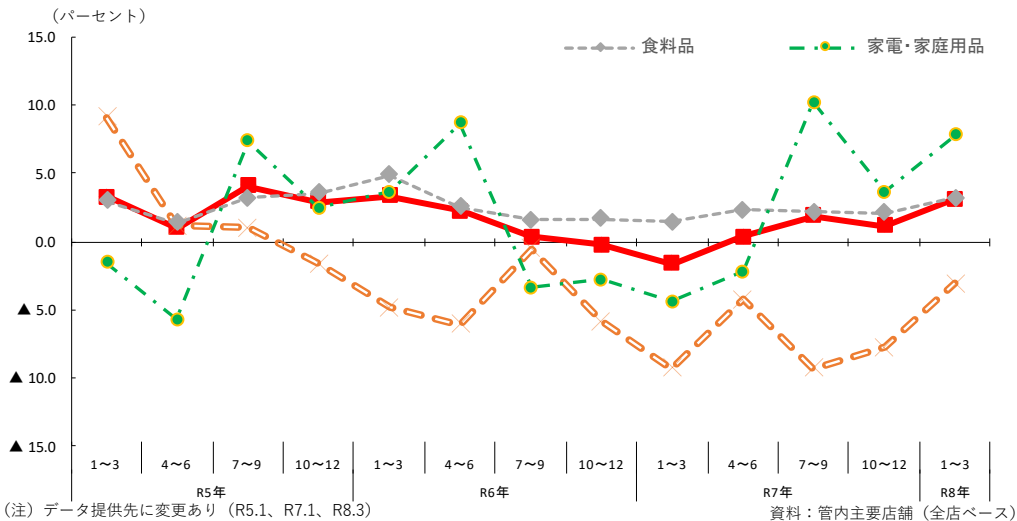
個人消費は持ち直しつつある。観光は緩やかに回復している。雇用は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

このように、管内経済は持ち直しつつある。

	前回（令和7年10月～12月期）	今回（令和8年1月～3月期）	前回比較	備考
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある		上方修正は、令和6年7月～9月期以来、6期ぶり
個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある		上方修正は、令和5年4月～6月期以来、11期ぶり
観光	緩やかに回復している	緩やかに回復している		
雇用	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		
生乳生産	前年を下回る	前年を下回る		
漁業	水揚量、水揚金額ともに前年を下回る	水揚量は前年を下回ったものの、水揚金額は前年を上回る		上方修正は、令和3年4月～6月期以来、19期ぶり
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る		
公共事業	前年を上回る	前年を上回る		

先行き	先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が景気の持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。
-----	---

主要小売店売上高（前年同期比）



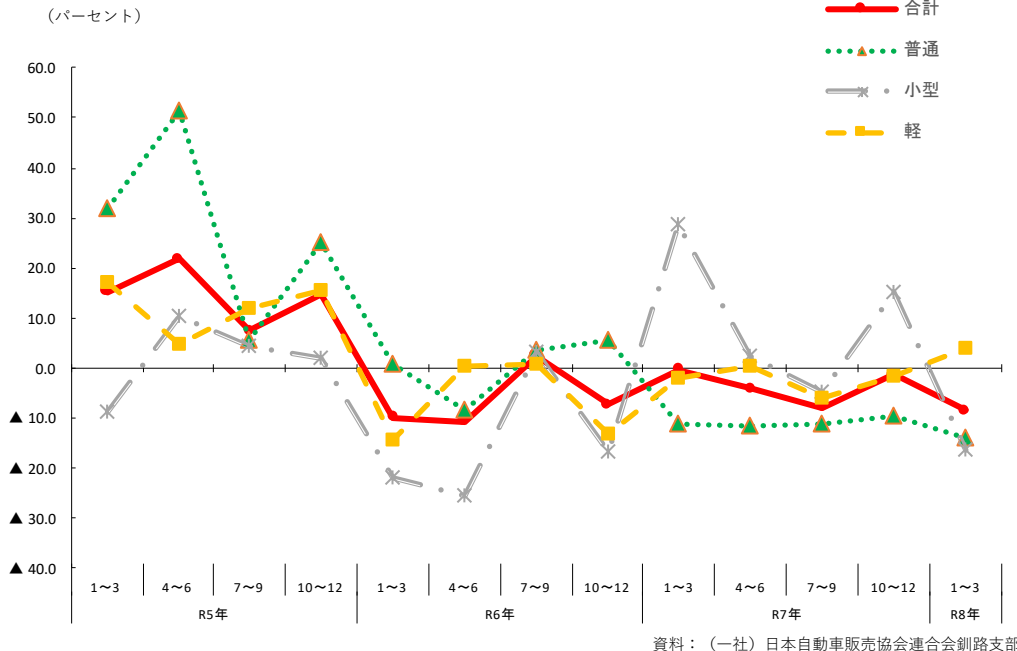
● 主要小売店売上高は、衣料品が前年を下回っているものの、食料品及び家電・家庭用品が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】
合計3.1 衣料品▲3.1 食料品3.2 家電・家庭用品7.8

【企業・関係団体の生の声】

- 衣料品は、買い控えが継続しており、また平均気温が高めに推移したこともあって、冬物衣料の処分セールも振るわなかった。
- 食料品は、節約志向は継続しているものの、一人あたりの購入数量が回復しつつある。
- 家電・家庭用品では、寝具で高価格帯ブランドの掛布団やマットレスが好調であった。
- 2027年の省エネ基準引上げを見据えた駆け込み需要により、エアコンの売上げが増加した。

乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）



● 乗用車新車登録・届出台数は、前年を下回っている。

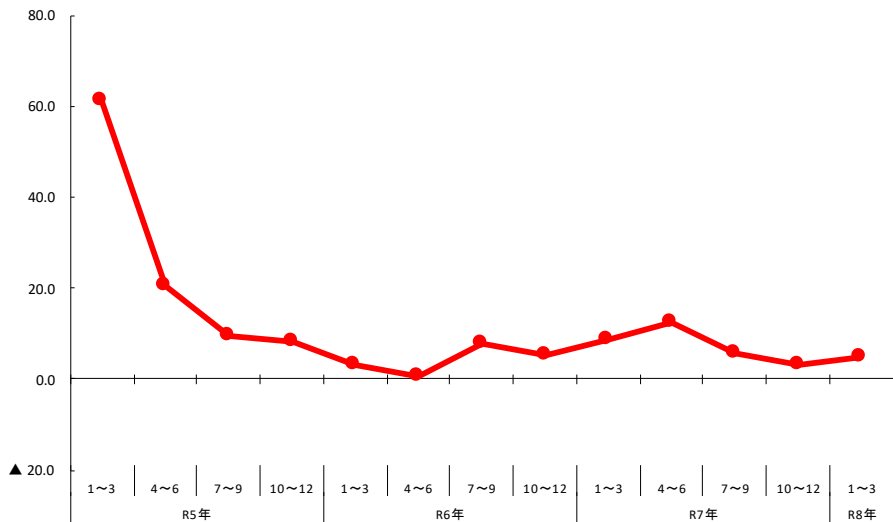
【前年同期比（単位：パーセント）】
合計▲8.5 普通▲13.9 小型▲16.2 軽3.9

【企業・関係団体の生の声】

- 前年はまとまった台数のレンタカー需要があったため、その反動により減少している。
- 自動車税環境性能割が3月末に廃止となったことで、4月以降の登録に先延ばしするケースがみられた。

空港乗降客数（前年同期比）

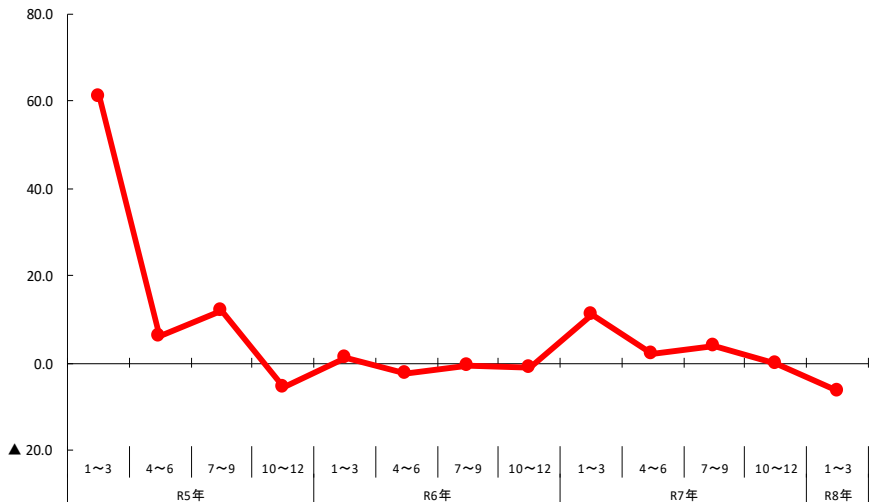
（パーセント）



資料：北海道エアポート(株)釧路空港事業所、中標津町

宿泊客数（前年同期比）

（パーセント）



資料：管内主要施設

- 空港乗降客数は、道外便、道内便ともに前年を上回っている。海外便は運航がなかった。
- 宿泊客数は、前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

- ・ 空港乗降客数
合計4.7 道外便6.6 道内便0.7 海外便-
- ・ 宿泊客数▲6.4

【企業・関係団体の生の声】

（空港乗降客数）

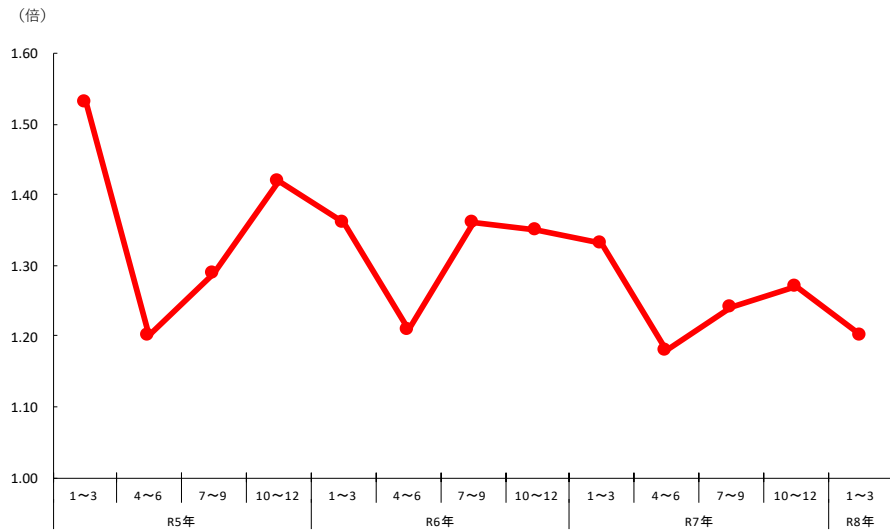
- 1/30~2/3に神戸や広島、小牧（愛知）、南紀白浜（和歌山）と釧路を結ぶチャーター便の運航があったこと、年始の帰省客による利用が好調であったことにより、前年を上回っている。

（宿泊客数）

- 国内客は、前年は阿寒で開催したスポーツ大会による増加があり、その反動により2月の道外客が減少している。
- 海外客は、中国政府の渡航自粛要請により中国からの団体客・個人客ともに減少したが、韓国等からの個人客が増加したことで前年並みとなった。
- 3月は、道内個人客と台湾からのツアー客が増加しているため前年を上回っている。
- 足下は、観光目的の道内個人客やスポーツ合宿により好調である。GW期間についても家族連れ層を中心とした道内個人客による予約が好調である。

持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

有効求人倍率



- 有効求人倍率は、有効求人数が減少し、有効求職者数が増加したことから、前年を下回っている。
- 新規求人数は、卸売・小売業などの業種で前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

有効求人倍率**1.20**倍

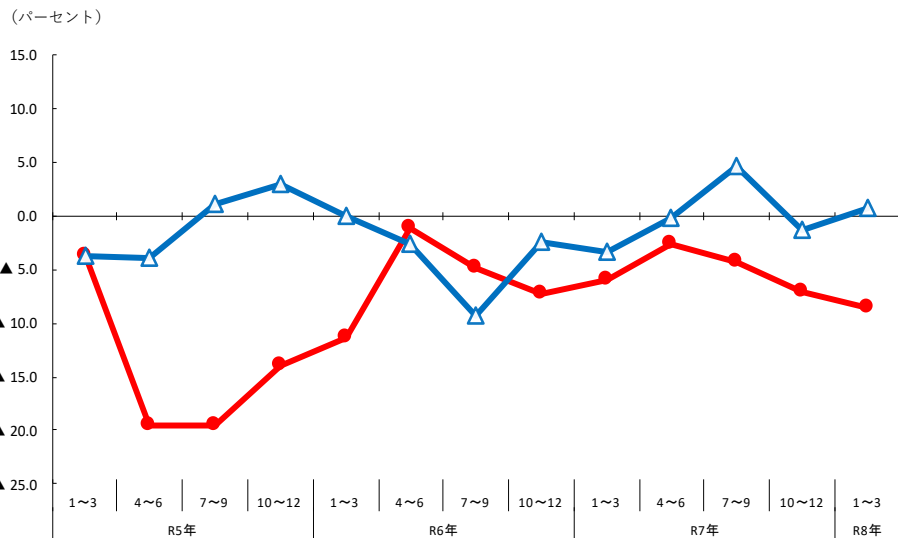
【前年同期比 (単位：パーセント)】

有効求人数▲**8.6** 有効求職者数**0.7** 新規求人数▲**10.6**

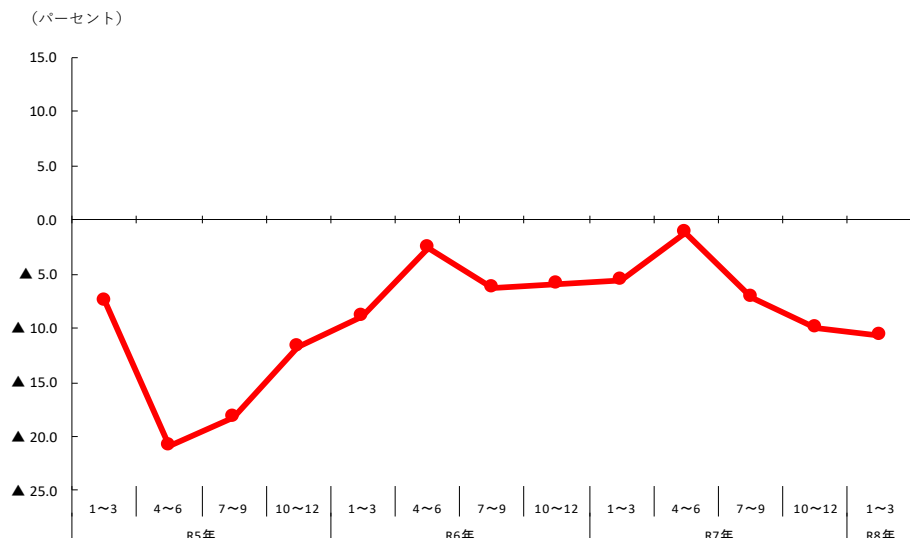
【企業・関係団体の生の声】

- 主にフルタイムで働いている人の中で、より良い条件を求めて転職活動をする動きが活発化している。
- 物価、燃料費、人件費等のコストが増加している中、先行きが見えない状況が継続している。人手不足ではあるものの、今は人を増やさずに現状の人員で対応したいと考えている企業は多い。

有効求人数・求職者数 (前年同期比)



新規求人数 (前年同期比)

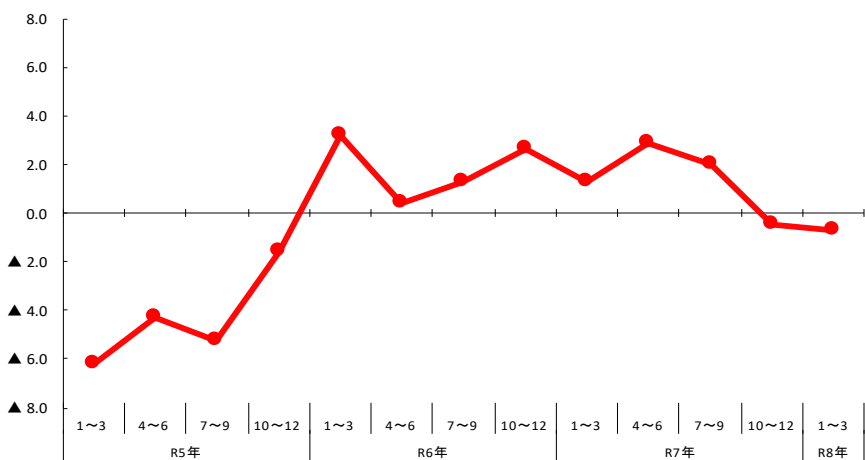


生乳生産

前年を下回る

生乳生産量（前年同期比）

（パーセント）



資料：ホクレン釧路、中標津支所

- 生乳生産量は、釧路地域、根室地域ともに前年を下回っている。

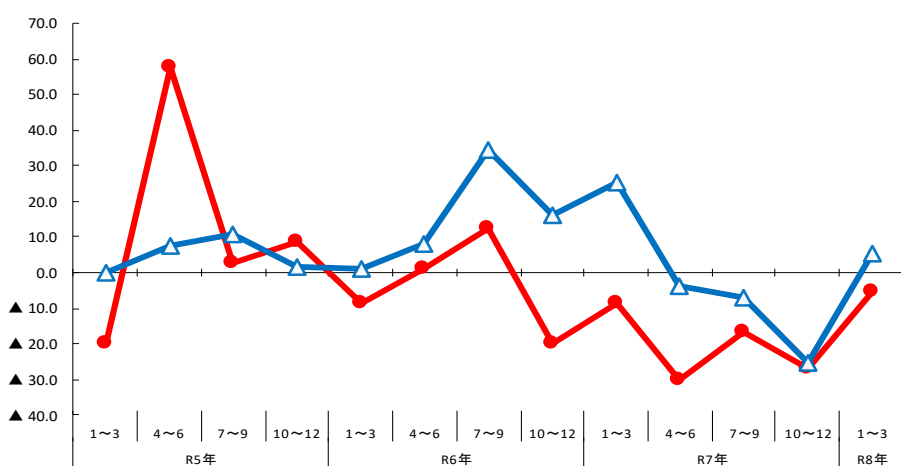
【前年同期比（単位：パーセント）】 合計▲0.7 釧路▲0.1 根室▲1.0

漁業

水揚量は前年を下回ったものの、水揚金額は前年を上回る

水揚量・水揚金額（前年同期比）

（パーセント）



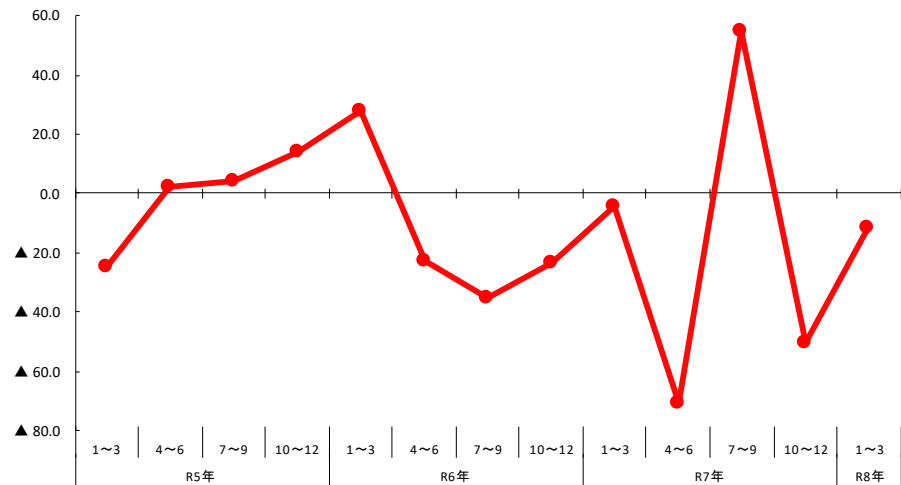
資料：主要6先

- 水揚量は、タラなどが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。
- 水揚金額は、タラなどが前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 水揚量▲5.5 水揚金額▲5.5

住宅着工戸数（前年同期比）

（パーセント）



資料：国土交通省

- 住宅着工戸数は、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲住宅、給与住宅が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

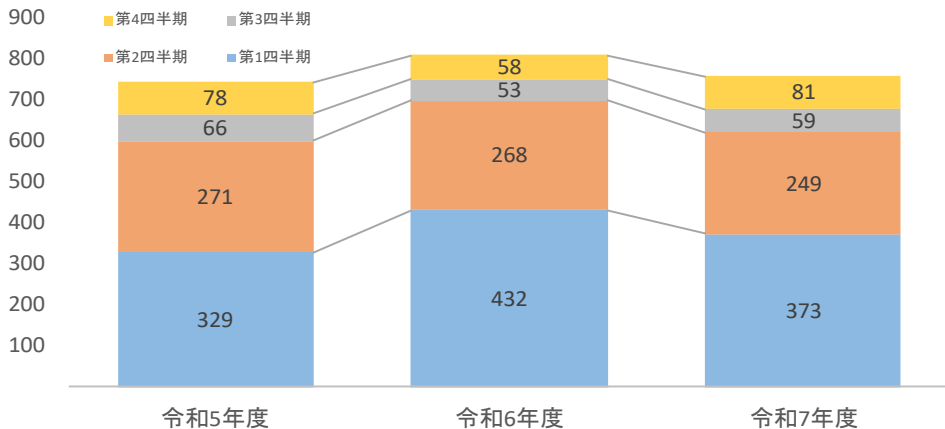
合計▲11.3 持家▲37.8 貸家66.7 分譲住宅▲28.6 給与住宅皆減

【企業・関係団体の生の声】

- 建設コストの増加から新築の受注は低調となっている。
- 中東情勢の影響により調達見通しが立っていない資材が多くあり、新築・リフォーム・修繕全ての受注に支障が出ている。
- 貸家については、駅南側のような釧路市内の特定エリアにおいて新築意欲が旺盛だと感じる。

前払金保証請負金額

（億円）



資料：北海道建設業信用保証㈱

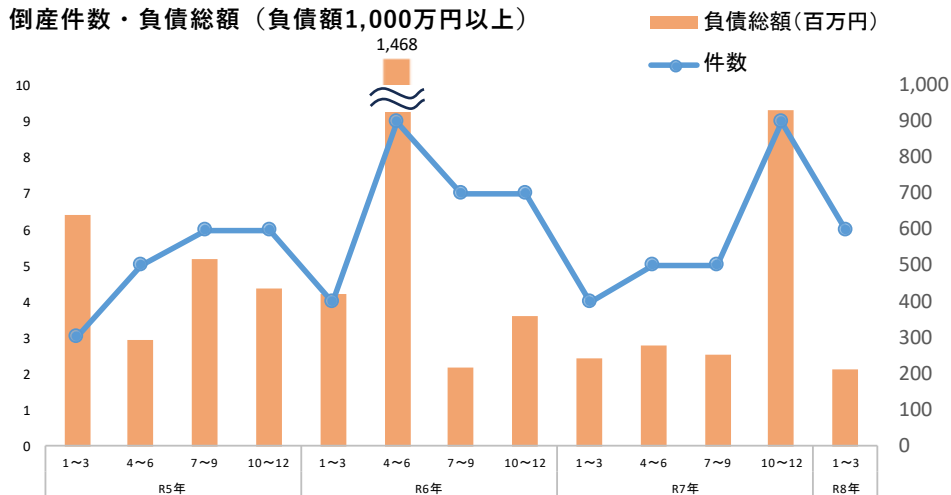
- 前払金保証請負金額でみると、国、北海道、市町村が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 第4四半期40.0 年度累計▲6.2

企業倒産

倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回る

倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）



資料：(株)東京商工リサーチ

- 倒産件数は6件で前年を上回っており、負債総額は211百万円で前年を下回っている。

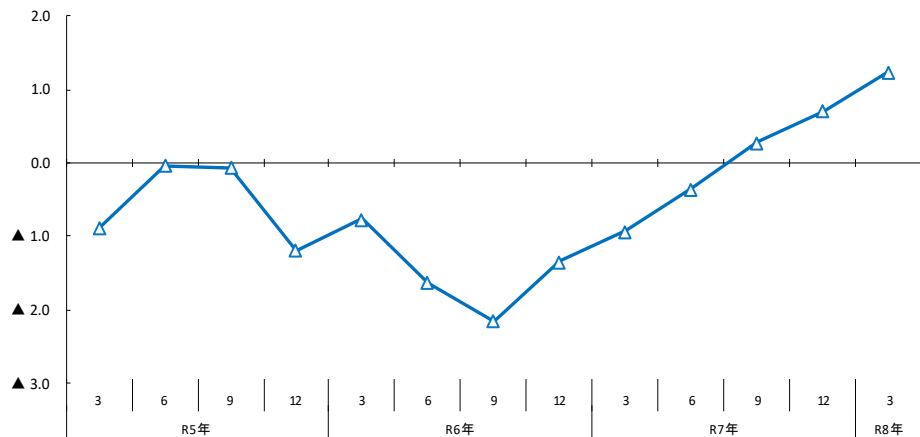
【前年同期比（単位：パーセント）】負債総額▲13.2

金融

貸出金残高は前年を上回る

貸出金残高（前年同期比）

(パーセント)



資料：管内銀行、信用金庫、信用組合（※R7.3より信用組合の数値追加）

- 貸出金残高は前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】貸出金残高1.2